

地域社会特論

2 単位 (選択) 1 年 (前期), 2 年 (前期)
矢部 拓也・准教授 / 地域科学専攻 (博士前期課程) 地域創生

【授業目的】 地域社会を考える上での基本的な視点を、都市社会学、地域社会学の立場から教授する。具体的には、シカゴ学派、新都市社会学、伝統消費型都市論、社会構造分析、コミュニティ論などの異なったアプローチから地域社会分析手法について解説する。

【授業概要】 本講義では事例研究を重視する。テキストの講読をふまえて、現在地域社会の課題である、中心市街地活性化、NPO(新しい公共性)、子育て支援、高齢社会、都市ガバナンス、都市農村交流など、「まちづくり」に関連する徳島の具体的事例を取り上げながら、地域社会の分析視点を身につけてもらう。

【授業計画】

1. 地域社会と地域社会学
2. < 農村ー都市 > の社会学から地域社会学へ
3. グローバリゼーションと地域社会
4. 地域社会の編成と再編
5. 地域社会の構造と空間
6. 都市化とコミュニティの変容
7. 地域社会の自治と再創造
8. 地域フィールドワーク実践と地域社会学
9. 地域社会学の知識社会学
10. 地域社会へのリテラシー
11. 戦後日本の地域政策
12. 地域開発政策と農村の変容
13. 都市化と都市政策の展開
14. 子育て、教育をめぐる運動の展開
15. 福祉の地域化とボランティア・セクター

【成績評価】 上記テキストの発表および、授業中の議論への参加度などの平常点

【教科書】

- ◇ 似田貝香門監修『地域社会学の視座と方法 (地域社会学講座第 1 巻)』東信堂, 2006
- ◇ 岩崎信彦, 矢澤澄子監修『地域社会の政策とガバナンス (地域社会学講座第 3 巻)』東信堂, 2006
- ◇ 森岡清志編『地域の社会学』有斐閣, 2008

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218165>